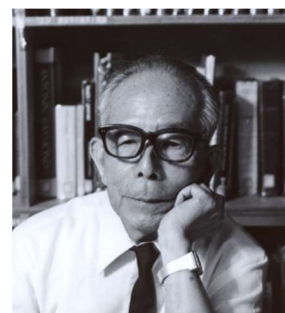


前川國男氏について

○ 設計者・前川國男

前川國男（1905－1986）は、世界的建築家であるル・コルビュジエに日本人で初めて師事した、日本を代表する近代建築家の一人です。神奈川県立図書館・音楽堂をはじめ、東京文化会館や国立国会図書館本館など、日本のモダニズム建築を代表する作品を数多く生み出しています。



撮影者 廣田治雄
写真提供 株式会社前川建築設計事務所

○ 県立図書館現本館

現本館は、隣接する県立音楽堂とともに前川國男が戦後最初に手掛けた公共建築です。1954年11月に開館し、以来、神奈川県民の学びを支えてきました。

建物の中央に書庫を設ける中央書庫式の設計は、国立国会図書館本館（1961年竣工）にも採用され、図書館建築の一つのプロトタイプとなっており、中央書庫の周壁と書架自体を利用した構造計画が建物外壁面の開放性を創出しています。

東面と南面の穴あきレンガ（ホローブリック）は、日射を遮り室内に柔らかい光が差し込むブリーズ・ソレイユ機能を果たし、神奈川県立図書館のアイコンとして特徴的な外観を演出しています。また北面の縦型プレキャストルーバーは、西日を遮りながら開放的で落ち着いた閲覧空間を創出しています。

現本館は県立音楽堂とともに、その歴史的な重要性に鑑み、2021年8月に神奈川県指定重要文化財に指定されました。



ホローブリック



縦型プレキャストルーバー

○ ミニ展示の御案内

ただいま現本館1階において、「建築としての神奈川県立図書館」をテーマにしたミニ展示を開催中です。今後、内容を一部リニューアルし、3月後半から4月10日まで前川國男に関連する資料を展示します。

なお、当施設においては、新型コロナウイルス感染防止対策を講じております。また、一定の人数を超えた場合は入場制限を行います。

